

以下の箇所に誤りがありました。謹んでお詫びし訂正いたします。

第3章「看護師の仕事とその管理」2節「看護管理で重要なこと」

1項 看護管理についての効率性と効果性 plus α

p. 71

【誤】クリニカルパス

米国で発展したオペレーションリサーチの工程管理の手法で、カレン・ザンダー氏(Karen Zander)が医療に導入し、ケアマップとして商標登録した。クリニカルパスは、米国では入院期間短縮を目的に採用され、日本にも導入された。クリニカルパスとも呼ばれ、患者を含めた医療チームの誰もが一目でわかる治療計画を目指して作成されている。

クリニカルパスの効用として、以下の七つが挙げられている。①患者満足の上昇、②症例管理の改善、③職員教育、④診療情報の二次利用、⑤チーム医療の推進、⑥コストの削減、⑦在院日数の短縮

【正】クリティカルパス

米国で発展したオペレーションリサーチの工程管理の手法で、カレン・ザンダー氏(Karen Zander)が医療に導入し、ケアマップとして商標登録した。クリティカルパスは、米国では入院期間短縮を目的に採用され、日本にも導入された。クリニカルパスとも呼ばれ、患者を含めた医療チームの誰もが一目でわかる治療計画を目指して作成されている。

クリティカルパスの効用として、以下の七つが挙げられている。①患者満足の上昇、②症例管理の改善、③職員教育、④診療情報の二次利用、⑤チーム医療の推進、⑥コストの削減、⑦在院日数の短縮

* なお、看護師国家試験出題基準(平成30年版)ではクリニカルパスの表現が用いられています。